

Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter 2026-27



2026.8.1

Vol. **2**



■ 2026-27年度 RI会長テーマ

CREATE LASTING IMPACT

持続可能なインパクトを生み出そう

■ 2026-27年度 RI第2500地区ガバナー 地区スローガン

親睦から始まる持続可能な奉仕！

～原点回帰・ロータリーを楽しんでいますか？～

ガバナーメッセージ	1
ガバナー公式訪問が始まりました!!	2
ガバナー公式訪問レポート	2
RI2500地区 TOPICS	6
会員増強月間にむけて	7
地区ローターアクト代表挨拶	8
分区だより	10
母子の健康増進委員会	11
2025年・モンゴルでの2500地区グローバルグラント	12
「ロータリーの友」月間に寄せて	14
ガバナー事務所のご案内	16
地区大会お知らせ	17

ガバナーメッセージ Governor's Message



2026-27年度
国際ロータリー第2500地区ガバナー

山 本 倫 生 (旭川 RC)

親愛なる2500地区のロータリアンの皆さま

2026—27年度がスタートして1ヵ月が過ぎ、各クラブでの新体制も少しずつ落ち着いて来られた頃かと思います。日頃よりクラブ運営と奉仕活動の推進にご尽力頂いていることに心より感謝申し上げます。

さて7月1日に大阪でガバナー会議並びにガバナー懇談会が開催され、ガバナーとしての最初の仕事をしてきました。さらに7月4日には旭川でパストガバナー及びガバナー補佐の皆さんにお集まり頂き、地区諮問委員会、ガバナー補佐会議を行いました。そして6日の釧路西クラブから公式訪問がスタートしまして、7月中に21クラブを訪問致しました。各クラブの皆さんにはご対応頂きありがとうございました。

8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」と位置づけられ、私たち一人ひとりが「なぜロータリーに入会したのか」「ロータリーで何を学び、何を分かち合いたいのか」を改めて見つめ直す良い機会となります。会員増強というと人数目標に目が向きがちですが、本来はロータリーの理念に共感し、共に歩む仲間との“ご縁”を広げていく月間であると私は考えています。

クラブの雰囲気づくり、例会の工夫、奉仕プロジェクトへの参画のしやすさなど、小さな改善の積み重ねが、既存会員の満足度を高め、新たな入会希望者にも魅力的に映ります。今年度のインカ国際ロータリー会長メッセージが示すとおり、私たちの行動は、地域社会に「持続可能なインパクト」をもたらすことが求められています。その実現のためにも、多様な経験や価値観を持つ仲間が加わることは、大きな力となる筈です。

各クラブにおかれましては、会員選考と情報の丁寧な提供を通じて、ロータリーの目的や責任を正しくお伝え頂きたいと思えます。そして新たに加わる仲間を温かく迎え入れ、学びと友情を分かち合う場を整えてください。会員一人ひとりが「このクラブに入ってよかった」と実感できる時、そのクラブは自然と外からも魅力ある存在として映ります。語り合う「親睦」があるからこそ、強固な信頼関係が生まれ、それが途切れることのない「持続可能な奉仕」へと繋がって行くのです。

暑さの厳しい折ではございますが、どうか皆さまご自愛のうえ、引き続きクラブと地区の活動にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。皆さまと共に歩む一年が、地域と2500地区と世界にとって実り多いものとなることを願い、8月のガバナーメッセージと致します。

ガバナー公式訪問が 始まりました!!



2026-27年度 国際ロータリー第2500地区

地区幹事 小 滝 達 也

(旭川RC)

2026-27年度ガバナー公式訪問が、いよいよスタートいたしました！
公式訪問は、今年度の国際ロータリーそしてガバナーが掲げる今年度の地区方針を、直接お伝えできる、年に一度の大変貴重な行事です。

ガバナーの他に旭川クラブのメンバーも皆様のクラブへお伺いできる事を楽しみにしています。

10月までの限られた日程での公式訪問ですが、何卒よろしくお願い
いたします!!



玉串を捧げる山本ガバナー



公式訪問用車両2台の安全を祈願した

ガバナー公式訪問レポート

第7分區

訪問日 7月6日

釧路西ロータリークラブ

会長 菊地 康平

幹事 大場 恵治

釧路西RCは、1970年釧路北RCをスポンサーに設立されました。会員数26名(うち女性会員2名)、平均年齢54歳で少数ながら活気のあるクラブです。

今年度、菊地康平会長のスローガン「みんなで作るロータリー」として各会員の知識や経験、人脈などを最大限に活かし、会員が一体となり生き生きとしたロータリー活動を目指しています。

経費の削減と会員の減少を抑える取組として、例会を月2回に減らしましたが、その反面、通常の例

会以外でも、44年間継続している小学校バレーボール大会や43年間継続している釧路西ロータリークラブ会長杯柔道大会などを通じた青少年の育成などの活動に積極的に取り組んでいました。

その他、近年では会員増強と退会防止の一助とするため、非公式ながら同好会的な趣味の活動を通じて会員間の親睦を図っています。

これからますますの発展を祈念いたします。

(公式訪問随行者 地区幹事 小滝達也)



訪問日 7月7日

釧路東ロータリークラブ

会長 清水 荘一 幹事 芳賀 英利

釧路東RCは、1971年釧路RCをスポンサーに設立されました。

今年度、清水荘一会長は①会員増強・維持 ②ロータリー財団及び米山記念奨学会の理解と協力③インパクトをもたらす持続可能な奉仕活動、の3項目を方針に掲げました。それぞれの方針を円滑に実行すべく、会長以下26名で、理事会を中心として「会員組織部会」にクラブ管理委員会・クラブ運営委員会、「奉仕プロジェクト部会」に社会奉仕委員会・職業奉仕委員会・国際奉仕委員会、ロータリー財団委員会を別に組織し少人数ながらがんばっています。

その他、継続的な事業として「ロータリーの森」や「アオダモの森」の30数年間にわたる育成と管理、MOO植物園への花壇及び花寄贈事業を継続し、まちの美観維持に貢献しています。

平均年齢は64歳と、会員の若返りに課題があるものの、ゴルフ同好会「東桜会」を30年以上続けており、参加人数も多く盛り上がっているとのこと。

これからますますの発展を祈念いたします。

(公式訪問随行者 地区幹事 小滝達也)



訪問日 7月7日

釧路ベイロータリークラブ

会長 植原 元晴 幹事 森 圭一郎

釧路ベイRCは、1997年 釧路北RCと釧路西RCをスポンサーに設立されました。本年度の2027年5月15日(土)にクラブ設立30周年を迎えます。

クラブ歴が30年と比較的浅く、また会員数が18名(うち女性会員2名)と少数にもかかわらず、2名のガバナー(葭本正美PG・漆崎隆PG)を輩出し、「2500地区を牽引している」といっても過言ではありません。

植原元晴会長は「持続可能なクラブの成長を目指しましょう、将来を見据えた取り組みを実践しましょう」とのスローガンを掲げました。具体的には、

まず「会員増強」を一番に挙げ、「10年後の40周年までに30名達成」を目標としています。

次に、クラブ資金の確保として40周年までの10年間で100万円以上の準備、そして、青少年奉仕として市議でもあり会員でもある大越拓也会員が主催している「寺子屋」への継続的な寄付です。

日本酒の会やボーリング大会などでも活発に交流し、出席率がとても高いなど、クラブ内の雰囲気が良く、今後ますますの発展が楽しみです。

(公式訪問随行者 地区幹事 小滝達也)



訪問日 7月8日

釧路北ロータリークラブ

会長 本間 明美 幹事 星 耕輔

釧路北RCは、1958年 釧路RCをスポンサーに設立されました。設立以来、4人のガバナーを輩出し、2500地区を牽引しているクラブです。

本間明美会長は全国的にも数少ない女性会長で、スローガンとして「四つのテストを羅針盤に、起こそうアクション! ~寛容な心で、共に成長を~」を掲げました。具体的重点目標に①ポリオプラス・ソサエティ全員登録を目指す②会員増強

③ファンドレイジングへの理解と実践④青少年奉仕の推進⑤出向役員への支援・協力の5項目を据え、活動計画書の表紙に示した「四つのテスト」が羅針盤になっています。

さまざまな取り組みを積極的に活動していますが、特にアカデミー部門と青少年部門は未来を形づくる重要な活動でもあり、そのまま公共イメージの向上にもつながる興味深い事業です。また、会員増強と維持にもつながり、現在81名(うち女性会員6名)、本年度純増8名、退会者ゼロの目標へもつながるものだと思います。

さらに、創立70周年に向け「100名クラブ構想」もあり、名実ともに実現するものと確信します。

今後ますますの発展を期待しています。

(公式訪問随行者 地区幹事 小滝達也)



訪問日 7月9日

釧路ロータリークラブ

会長 工藤 彦夫 幹事 八幡 好洋

釧路RCは、1936年11月23日創立、1936年12月21日承認の歴史あるクラブです。その後、戦争中は「木曜倶楽部」「釧路職域懇話会」として存続し、1950年10月2日再承認を受けました。今年度、10月に創立90周年を迎えます。

工藤彦夫会長は、今年度テーマを「志を継ぎ、未来へ拓く90年~先人の情熱を胸に、新たな一步を~」としました。つながりを大切にし創立90周年を迎えた今こそ、次の10年を「進化の10年」ととらえ、100年、そしてさらにその先へつながる確かな礎を築く一年とするため、若い世代に選ばれ、地域に必要とされるクラブとして活動しています。

会員数108名(うち女性会員1名)で、今後は安定的

に継続性のある会員増強と女性会員増加を通じ、バランス感のある会員増強を目指しています。

また、地域と青少年の奉仕活動として「全道中学親善硬式野球大会」「釧路ロータリーカップ・アイスホッケー大会」も支援・協力し、内外ともに「つながり」を大切にした活動を積極的に展開しています。

これまでに5名のガバナーを輩出し、さらに次々年度にもガバナーを輩出する予定です。

名実ともに、ロータリーを牽引する歴史あるクラブとして今後の活躍を楽しみにしています。

(公式訪問随行者 地区幹事 小滝達也)



訪問日 7月10日

白糠ロータリークラブ

会長 進藤 卓嗣

幹事 大坪 洋一

白糠RCは、1960年12月9日 釧路RCをスポンサーに、道内33番目のロータリークラブとして誕生しました。以来65年間、地域と共に活動しているクラブです。

今年度、進藤卓嗣会長は「笑顔あふれる一年間」をテーマに会員間の固い結束の中で活発に活動しています。会員数11名(うち女性会員1名)、平均年齢60歳で、会員数は少数ではありますが例会を月4回しっかりと開催しています。地域と白糠町のために出来ること全会員で楽しみながら実行していること

が、奉仕活動だけに留まらず、会員増強にも影響し貢献していると思います。

その他の活動としては地域のお祭り・イベント・公共事業(草刈り等)、さらには近隣他クラブとの合同例会等積極的に活動をしています。

これからますますの発展を祈念いたします。

(公式訪問随行者 地区幹事 小滝達也)



訪問日 7月10日

釧路南ロータリークラブ

会長 佐久間 光弘

幹事 長江 孝文

釧路南RCは、1982年6月23日 釧路RCをスポンサーに設立。今年度、佐久間光弘会長は「つながりを楽しむロータリー ～Enjoy Rotary Connections～」をテーマとし、会員同士のつながりの中から生まれる気づきや協力関係、そして市域社会への奉仕、次世代への支援へとつながることにより、楽しく活気のあるクラブになり、ひいては会員増強にもつながると考えています。

また、12月の例会において「上期の反省、下期の挑戦」と題した例会を予定し、現状に満足することなく例会を通じて修正をする試みはすばらしいと

感じました。

さらに、例会のテーマとし「清掃例会」「スポーツ例会」「観楓会例会」そして「献血例会」と多彩な例会は、聞いているだけで参加したくなりました。

会員数26名(うち女性会員5名)と会員増強には苦勞をしていましたが、2割以上の女性会員そして平均年齢58.1歳と若く、今後がとても楽しみなクラブです。

今後ますますの発展を祈念いたします。

(公式訪問随行者 地区幹事 小滝達也)



RI2500地区 TOPICS



今津旭川市長を表敬訪問 上川神社で安全祈願 ロータリー2500地区山本ガバナー 地区内の公式訪問へ



国際ロータリー（Ｒ）第2500地区の2026年度ガバナーに7月1日、就任した山本倫生氏（メディプロホールディングス（株）社長）が、7月6日に始まる地区内64クラブをすべて訪れる「ガバナー公式訪問」を前に、地区役員らとともに、旭川市役所に今津寛介旭川市長を表敬訪問した。

Ｒは世界を525地区に分けており、日本にはそのうち34の地区がある。Ｒ2500地区は北海道のおよそ東半分をエリアとし、北は礼文から南は広尾、東は根室までの広大な地域を含む。10月9日～10日には旭川市内で地区内外のロータリアンや来賓を集めて地区大会が開催される予定だが、ガバナー公式訪問ではそれまでに地区内にある64のロータリークラブをくまなく巡る予定。

市長表敬訪問では、山本ガバナーが公式訪問の概要を説明。今津市長からは日頃から寄付などを通じてロータリーの各クラブが市政に協力していることについて謝意が述べられた。

その後、山本ガバナー、地区役員やロータリアンは安全祈願のため上川神社に向かった。角田秀昭宮司による祝詞の奏上に続いて、山本ガバナーらが真剣な表情で玉串を捧げ、道中の安全を願った。

旭川市を中心に発行されている月刊北海道経済誌の2026年8月号に、山本ガバナー公式訪問出発に先立ち行われた今津寛介旭川市長への表敬訪問、上川神社での安全祈願に関する記事が掲載されました。

会員増強月間にむけて

2026-27年度
国際ロータリー第2500地区
会員増強委員会 委員長

讃岐 武 史

(帯広RC)



8月のロータリーは「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。これはクラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりがロータリー活動への参加をさらに深めることを目的として、国際ロータリー（RI）理事会が定めたテーマです。

日本のロータリークラブ会員数は、1997年に13万1,731人でピークを迎えました。しかし、バブル経済崩壊後の会員の高齢化や若年層の入会減少などの影響により、現在は8万3,000人から9万人前後で推移しています。また、国際ロータリー全体でも、歴史ある国々での会員減少を新興国の増加が補う状況が続き、この20年間は約120万人規模で横ばいとなっています。

そのため、歴代の国際ロータリー会長は「会員増強」を重要課題として掲げています。2026-27年度のオラインカ・ハーキム・ババロラ会長も、2030年に向けた会員増強目標の達成によって大きな「インパクト」を生み出すことを提唱しています。山本ガバナーもまた、地区内会員2,500名以上の維持・増強を地区運営の最重要目標に掲げています。

近年とある創立60年以上の歴史を持つあるクラブで会員数が10数名まで減少し、高齢化も進んだことから、クラブの存続か終結かが真剣に議論されました。その報告を受けた当時のガバナー、ガバナーエレクト、ガバナー補佐らが行動し、当該クラブと歴史を未来へつなぐために会員増強に取り組んだ結果、新たに6名が入会し、クラブは存続することとなりました。危機を契機として新しい世代の会員が加わり、クラブ活性化につながった好例です。

ロータリーの根幹には「親睦」があります。しかし時には、その親睦が新しい仲間を迎える際の壁となることもあります。女性会員のいないクラブに初めて女性会員を迎えるときや、世代の大きく異なる若い会員を勧誘するときに、ためらいを感じることはないでしょうか。

会員増強に即効性のある特効薬はありません。しかし、会員構成を含めた「多様性」の推進は極めて重要です。また、新入会員の勧誘には、日頃から地域社会におけるクラブの「公共イメージ向上」を図ることも欠かせません。新しい会員の発想や行動がクラブに新たな活力をもたらすことも少なくありません。

歴史と伝統を未来へつなぐため、地区内会員の皆様に改めて新入会員の勧誘と会員増強へのご協力をお願いいたします。山本年度末2,500名達成に向け、会員増強と退会防止にご尽力くださいますようお願い申し上げます。

地区ローターアクト代表挨拶



2026-2027年度、地区ローターアクト代表を務めます、倉井健匠と申します。

入会は2024年4月、3年目となります。昨年度は帯広ローターアクトクラブで幹事を務めさせていただきました。

さて、今年度の地区ターゲットは『ACT Trigger』です。Triggerは引き金やきっかけといった意味合いです。会員の人生において成長のきっかけに…、ローターアクトクラブが各地域活性化のきっかけに…、そんな思いを込めました。今年度は「きっかけ」をテーマに活動を行っていきます。

今年度重点目標は以下の通りです。

■ 会員増強

【会員数を期首約90名→135名へ】

- ・期首約90名の会員数を135名に増強 ※純増50%の目標

■ 理解と認知

【ローターアクター・ロータリアンの各行事への参加推進】

- ・ローターアクターがロータリアンの行事へ参加できる環境の整備
- ・ロータリアンがローターアクターの行事に参加してもらえる環境の整備
- ・ローターアクターの活動を知ってもらえるよう、SNSを使った広報活動

■ 自地区行事への参加推進

【参加費補助等にて自地区行事への参加推進】

- ・地区予算より各クラブへ行事参加に当たる補助金
(RAC地区協議会・RAC地区大会・RC地区大会・RYLAセミナーなど)

■ 地域活性化

【各クラブ地域イベントの主催開催を義務化】

地域活性化を目的としたイベントを各クラブで主催することを義務化

例：地域の夏祭り、単日イベントなど

内容は各クラブにて書類作成後、地区役員にて内容を精査

地域にローターアクトクラブがいるということを認知してもらうきっかけに

以上が今年度の重点目標となります。ロータリアンの皆様へお願いする場面も多いかと存じますが、今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。

近年、全国RA大会への参加や、地域会議への参加など、2500地区内だけでの活動にとどまらず、全国的な活動も活発になってきております。地区内のローターアクターも、積極的に他地区との関わりを持ち始めております。前年の西田年度で培った経験や、つながりを糧に、今年度も多くの活動で奉仕・親睦の輪を広げていきたいと思っております。

一年間どうぞよろしくお願いいたします。



2025-2026年度 国際ロータリー第2500地区・第2510地区 第24回北海道ローターアクト交流会



ローターアクトクラブ創立年一覧

クラブ名	創立年月日	会 長	幹 事
釧路北ローターアクトクラブ	1971(昭和46)年10月13日	大 澤 敬 乃	岡 村 省 吾
美幌ローターアクトクラブ	1972(昭和46)年 3月29日	小 野 巧 明	藤 原 崇 志
北見ローターアクトクラブ	1972(昭和47)年 8月17日	奥 山 翔 太	太 田 美 聡
網走ローターアクトクラブ	1972(昭和47)年10月17日	笹 原 大 地	今 野 敦 妃
旭川ローターアクトクラブ	1974(昭和49)年 3月29日	佐 藤 祐 哉	山 田 直 人
稚内ローターアクトクラブ	1975(昭和50)年 1月29日	佐 藤 佑 介	中 山 優 佳
帯広ローターアクトクラブ	1975(昭和50)年 6月13日	類 家 大 樹	飛 澤 宏 太
富良野ローターアクトクラブ	1984(昭和59)年 9月14日	日 下 愛 美	鈴 木 瑛 里 菜

分区分区

第1分区分区

日本最北は国境のまち

第1分区分区ガバナー補佐

杉 川 毅

稚内ロータリークラブ



地球儀の北緯45度線を見ると、アメリカはポートランド、カナダはモントリオール、フランスがリオン、イタリアのミラノなど、礼文RC、利尻RC、利尻島RC、天塩RC、豊富RC、稚内南RC、稚内RCの第1分区分区7クラブも同緯度線上に位置しています。日本最北のエリアは三方を豊かな海に囲まれており美味しい海産物、国立公園の美しい自然景観が住むものの心を豊かに育てております。

今、世界情勢は混沌としておりますが、私たち国境のまちも歴史的なつながりが深い宗谷海峡を挟んだ隣国ロシア連邦サハリン州との国際交流は今は途絶えておりますが、互いに理解し合える日が訪れると祈るばかりです。

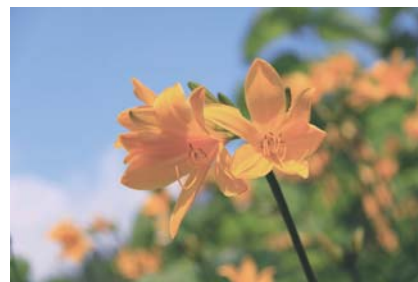
第1分区分区は、百名山に選定されている秀峰利尻山を中心とした変化に富んだ景観と動植物が特徴である利尻礼文サロベツ国立公園



姫沼（利尻島）

と、多くのライダーやサイクリストが憧れる日本海オロロンラインには、産業とくらしの繋がりが深い地域となっております。

これら北緯45度線のポテンシャル（人・自然・産業、再生可能エネルギー）を活かしつつ、7クラブの絆とロータリー精神のもと地域が抱える課題に対して真摯に向かいつつ持続可能な奉仕活動を展開してまいります。



エゾカンゾウ



高山植物レブンコザクラ（礼文島）

白い道（稚内市）



母子の健康増進委員会



2026-27年度
国際ロータリー第2500地区
母子の健康増進委員会 委員長
佐 藤 みゆき
(帯広南ロータリークラブ)

令和8年6月28日、北海道ホテル（帯広市）において「母子の健康増進委員会」が開催され、今年度の活動報告と次年度に向けての活動内容について話し合われました。経済的な理由で生理用用品を購入できない「整理の貧困」という問題が顕在化しており、女性の健康や尊厳に関わる重要な課題となっております。



今年度は、今まで参加されていない分区の皆様にも積極的に参加をしていただき、地区全体で啓蒙活動を行っていきたい。また、ロータリークラブのない市町村にも寄付をおこなうことにより、ロータリークラブの知名度アップに繋げたい。

新聞やメディアを介して周知を図り、広く市民・町民の方にも鑑賞いただくことで、ロータリーの公共イメージ向上に繋げてまいります。



2025年・モンゴルでの

2500地区グローバルグラント

PDG

足 立 功 一

釧路北ロータリークラブ



ロータリーの財団奉仕活動に於いて、グローバルグラント（以下GG）は、その金額、並びに活動成果において最大の効果が得られる事業です。

しかしながら、近年RIから求められている内容は、事業内容の妥当性、得られる効果、継続性、多地区との共同事業かなど、その承認には厳しいハードルが存在します。

過去、2500地区では多くのGG事業を実施して来ましたが、前年の佐渡ガバナー年度でもその一つとして、モンゴル南東部ゴビサラン県と南西部のウブスハンガイ県での医療支援事業（GG）に地区として参加しました。この事業はDistrict 3450（モンゴル）、District 3300（マレーシア）、District 3310（シンガポール、ブルネイ）、District 3830（フィリピン）、District 3490（台湾一部）と主幹であるイクウルグーRC（モンゴル8番目に設立された英語圏クラブ）とのジョイントで実施されました。承認ナンバーは、Project SMART MENTAL HEALTH UVURKHANGAI & GOVISUMBER"Global Grant GG2683184May-July 2026です。



「この事業での医療支援機器の引き渡しを、今年7月にウランバートルで対象となる病院のドクターを集めて講習会と研修を兼ねて行いたい。その贈呈式の様子やスピーチをRIに報告しなければならないので、佐渡ガバナーにモンゴルまでおいでいただけないか」と、台湾の国際ロータリーに参加した際に、モンゴルのGG担当のドクターオチルバット氏と会食した際に要請されました。しかし、佐渡ガバナーは別件で用事が入っているため不可能である旨お伝えすると、日本からどなたかPDGに参加していただきたいとの要請があり、私が佐渡ガバナーの名代として出席することになりました。

山本年度の第1回諮問委員会を申し訳ないが欠席し、7月4日釧路を発ち、ウランバートルまで往路約5時間半かかり、夜七時半にチンギスカン国際空港に到着。アテンドしてくれたドクターオチルバットと会い、そこから市街地までは素晴らしい高速道路が整備されておりましたが、高速道路を降りた途端に市内の大渋滞に遭遇、ホテルに着いた時には10時を回っていました。

主幹事であるイクウルグーRC会長のマークさんと一緒に、明日の予定の話し合いを兼ねた夕食が終わったのは0時を過ぎてからでした。

翌日は、ウブスハンガイ県とゴビサラン県の病院に勤務するドクターを集めての機器説明会と、ウランバートル市内の基幹病院院長を交えての講演会が行われ、その後一人一人のドクターに医療機

器（緊急時や難症例に対応するための医療機器）の贈呈と挨拶を佐渡ガバナーに代わって行ってきました。



今、ウランバートルは急速に発展し、市内の人口増加は急速に推移していますが、それに関連した教育関連施設や医療機器の整備は貧弱で、市内の交通も大渋滞を来しています。

しかしながら、地方の県では人口が伸び悩み、各病院の医療機器整備は改善されておらず、またドクターも充足されていない状態で、救急患者は半日以上かかって、中央の病院に車で運ばれた時には、手遅れになる状態が改善されていません。

その為に、今回2500地区が参加したこのGG事業は、その改善策として大変有意義な活動である事がRIでも高く評価され、この後はモンゴル北部にも展開する予定です。そして、継続性を必要とするため、山本年度にも引き続きの支援要請が参っています。ぜひこの事業の継続性を担保する意味で、2500地区の支援をお願い申し上げます。

また、釧路北クラブの姉妹クラブであるフレロータリークラブからの要請で、今年亡くなられたRI元理事小澤一彦様のモンゴルでの功績を称え、モンゴル3540地区と2780地区が中心となって、その他日本の7から8地区合同で、冠名でモンゴル教育大学に物理実験室の設置を行うことになったので是非協力してほしいとの要請が山本年度にきています。

この事業の成果は、来年5月15日に開催されるフレロータリークラブの創立25周年記念式典で発表される予定です。そして、この式典には日本の地区から多くのロータリアンが出席する予定です。

山本ガバナーには、この事業にも是非ご理解いただき、来年の5月には、日本から10地区位のガバナーと会員が集う祝賀会にご参加いただきたいと願っています。

因みに、ウランバートルでの私のアテンドは、釧路北クラブの坂入パスト会長がカウンセラーをした、北海道教育大学釧路校の米山記念奨学生のアマルさんがしてくださいました。

彼女はモンゴルに帰国してから、公的機関に勤め、その後2019年からご主人と一緒に幼稚園を経営し、今は100名以上の園児をあずかる園長先生として活躍しているとお話をお聞きしました。今後は2軒目を出すという話を聞いて、米山記念奨学生事業の素晴らしさを、あらためて認識して帰ってまいりました。

「ロータリーの友」月間に寄せて

2026-27年度
国際ロータリー第2500地区
ロータリーの友 地区代表委員

水 野 弘 敏

(旭川RC)



『ロータリーの友』誕生物語

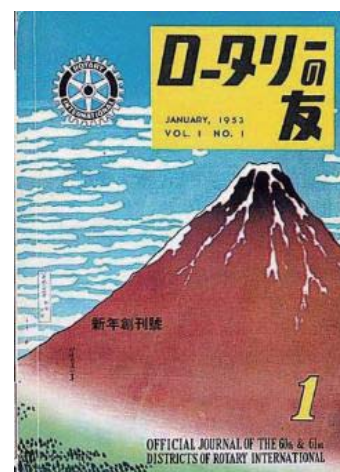
1952年7月、日本のロータリーが2地区に分割されました。
分割後も、お互いの地区のことを知ってほしいという思いから、翌1月両地区に共通の雑誌として発行されました。

2026年1月で、創刊73年を迎えました。

『ロータリーの友』は国際ロータリーの機関雑誌です

ロータリーの雑誌は、世界で30種類以上あり下記の方針があります。

- ①国際ロータリー（RI）が指定した記事を掲載すること
- ②国際ロータリーの方針を伝えること
- ③年に6回以上発行すること（少なくとも各号24ページ以上）
- ④雑誌の内容の50%はロータリーに関係した記事であること
- ⑤読者が印刷媒体か電子媒体を選択できること
- ⑥RIの資金援助を受けずに経済的に独立すること



横組みと縦組みがある理由

ロータリーの友の大きな特徴として、表紙が2つあり横組みと縦組みで構成されています。創刊時はすべて横書き（横組み）でした。

その後、俳壇、歌壇など、横組みでは具合の悪い欄が始まり、これらを縦書きで入れることになりました。1972（昭和47）年1月号から、縦書き、横書きを分けて、それぞれに表紙をつけました。左に開けると横書き、右に開くと縦書きという形の雑誌になりました。両面が表紙になった最初の号の表紙は陣羽織で、横書きは前から見たところ、縦書きは後ろから見たところ、というように、両面表紙の特徴を生かした面白いものになっています。

📝 ご投稿お待ちしております！ 『友』ウェブサイト内のフォームからお送りください。

コーナー名	説明	文章	写真	備考
ロータリー・アット・ワーク	ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真とともに紹介。活動後1カ月以内にご投稿ください	150～600字程度	集合写真、カメラ目線の撮影は不可。活動の様子が分かる画質の良い写真を添付	活動日を記載のこと
友愛の広場	エッセーや海外クラブ訪問記、時局雑感など	1,000字以内	集合写真、カメラ目線の撮影以外が望ましく、あれば添付。なくても可	
私の一冊	会員お薦めの本を紹介。一般的で、入手可能な市販書籍（絶版、自費出版、投稿者と直接関係する書籍以外）でお願いします	320字以内		原稿と別に書籍名、著者名、出版社、発行年を明記
うちの子	自慢のペットを写真で紹介	100字以内	ペットそのもののアップの写真	ペットの名前を明記
パズルdeロータリー	数独、パズルを毎月順番に掲載。プレゼント応募の締切は、発行月翌月の10日くらい			
内外よろず案内	会員間の趣味の交換、催し物の案内など	200字以内		資料があれば添付
声	『友』誌についての感想・意見を紹介。発行月翌月の10日締切	150字以内		対象記事を明記
ロータリー俳壇・歌壇・柳壇	1人1カ月に1枚3句（首）まで。作品の横にクラブ名、お名前、電話番号を記入			はがき可

- * 投稿原稿は編集部内でリライト、編集させていただきます。また、ひらがな・漢字・用語などは、『友』の表記に統一させていただきます
- * 写真ならびに原稿は、友ウェブサイト、広報誌など、（一社）ロータリーの友事務所発行の出版物および国際ロータリーのウェブサイト、出版物に掲載する場合があります
- * 掲載は、（一社）ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にご一任ください。掲載・非掲載の連絡は差し上げていませんが、投稿後6カ月をめぐりご判断ください

送り先・お問い合わせ

投稿フォーム
www.rotary-no-tomo.jp/kitei.php



その写真、大丈夫ですか？～著作権と肖像権のお願い～

著作権とは、写真や文章などの作品を創作した人が持つ大切な権利であり、許可なく使用・転載することは法律違反となる可能性があります。肖像権は、個人の顔や姿を本人の同意なしに撮影・公開されないよう守る権利です。これらの権利を侵害すると、権利者の正当な利益を損ね、思わぬ法的トラブルに発展する恐れがあります。

投稿の際は、必ず関係する方の了承を得た上で、上記のロータリーの友ウェブサイト・投稿フォームよりお送りください。他人のSNSからの無断転載は、厳にお控えください。なお、投稿に起因して発生したトラブルについて、（一社）ロータリーの友事務所は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

「持続可能なインパクトを生み出そう」

皆様からの投稿とお願いするとともに、ご愛読をよろしくお願いいたします。

2026-27年度 国際ロータリー第2500地区 ガバナー事務所のご案内

ガバナー 山本 倫生
地区幹事 小滝 達也
事務局 前野 房子

所在地

〒070-0031
北海道旭川市1条通10丁目159ツインクル1条通ビル3階
TEL 0166-74-8380 FAX 0166-74-8533
Email rid2500@aa.wakwak.com

ホームページ

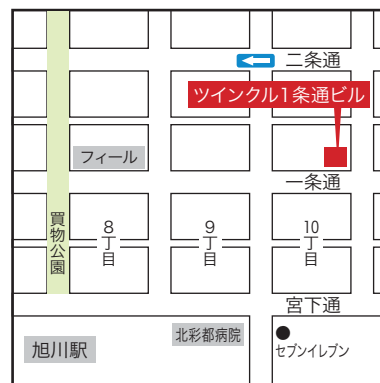
<https://www.ri2500.gr.jp/>

勤務時間

10:00 ~ 17:00

休日

土曜、日曜、祝日 夏期休暇 8/11 ~ 16 冬期休暇 12/28 ~ 1/5



国際ロータリー第2500地区

〒070-0031 北海道旭川市1条通10丁目159 ツインクル1条通ビル3階
TEL 0166-74-8380 FAX 0166-74-8533 Email rid2500@aa.wakwak.com

Rotary International District 2500

Twinkle 1-jodori Building 3F, 159,10-chome,1-jodori,Asahikawa,Hokkaido,070-0031,Japan
Phone +81-166-74-8380 FAX +81-166-74-8533 Email rid2500@aa.wakwak.com

国際ロータリー日本事務局 事務所のご案内

〒108-0073 東京都港区三田1丁目4-28 三田国際ビル24階

会員増強・体験推進室 TEL 03-5439-5800 Email rijapan@rotary.org

財団室 TEL 03-5439-5805 Email rijpntrf@rotary.org

経理室 TEL 03-5439-5803 Email rijpnsf@rotary.org

業務推進室 TEL 03-5439-5802 Email rijpnpi@rotary.org

2026-27年度 国際ロータリー第2500地区

地区大会

記念ゴルフ大会

2026. 10. 9 (Fri)

大雪山カントリークラブ

特別記念講演

演題

「人生何が起きるかわからない
～太蔵流チャンスをつかむ技術」

開催日

2026. **10. 10** (sat)

会場

旭川市民文化会館



杉村 太蔵 氏

2026-27年度 RI第2500地区ガバナー 山本 倫生

ホストクラブ：旭川ロータリークラブ